

平成 29 年度

事業計画書

(平成 29 年 1 月 1 日から
平成 29 年 12 月 31 日まで)

公益財団法人さわかみオペラ芸術振興財団

平成 29 年度 事業計画書

基本姿勢として、設立の目的に則り、芸術・文化に関する興味・関心・知識の普及、及び教育事業を行い、生活文化の向上に寄与するべく公益目的事業の充実に努めます。

I 本年度基本方針

【本年度の取り組み】

- ・世界トップレベルのオペラを日本に招聘し、公演企画から開催までの支援並びに主催
- ・地方の名所にてオペラ公演を行い、文化活動を広めつつ観光にも寄与する
- ・日本のオペラ文化を高めるための人材や才能を教育ならびに支援
- ・イタリアオペラの鑑賞ツアーと当財団イタリア留学生を交えた交流会
- ・日本でオペラ文化を広めるため講演会など各種啓蒙活動
- ・海外オペラフェスティバル、公演企画等の協力、協賛、支援、及び日本人アーティストを海外へ紹介

平成 29 年度の事業遂行では、組織の強化、ネットワークの拡大、内容の充実、新たな活動運営を行ないます。誰もが気軽に楽しめる本格的なオペラ、コンサートを企画制作、実現可能な方策を実施します。

II 事業計画

1. オペラ、コンサート公演開催事業

オペラという華やかな世界をより身近に楽しめる公演にするべく、日本の文化と融合させた野外オペラ公演を主に行います。平成 29 年度は大きな公演を 2 つ予定しています。

1. ジャパン・オペラ・フェスティバル

本年は東京と熊本にて 9 月に公演を行います。

東京は迎賓館にて野外オペラ『椿姫』を行います。『椿姫』のストーリーとマッチした迎賓館のたたずまいが、最高のオペラを創出してくれるでしょう。ただし、雨天等により中止の可能性もあるため、その準備を怠らないようにいたします。

また、昨年引き続きサントリーホールにて『ガラ・コンサート』を行います。世界でも有数のサントリーホールの響きが、オーケストラの気持ちを高め、素晴らしいコンサートをお届けできるところでしょう。

熊本は、復興応援の気持ちを込め、熊本の皆様にボローニャフィルの音楽をお届けしたいと思えます。また、県外からの観光誘致も兼ねます。ただし、熊本城にて野外オペラが難しい場合は室内でのコンサートを検討中です。

2. 中東公演

日本と中東の友好と中東の文化事業推進をサポートするためにコンサートを行います。
オーケストラは日本国内で集めた若手音楽家を中心に編成する予定です。

平成 29 年度 公演事業計画書				
事業名	日時	実施場所	出演者/備考	客席数
ジャパン・オペラ・フェスティバル				
野外オペラ公演 『椿姫』	平成 29 年 9 月中旬	東京・ 迎賓館（予定）	指揮者：吉田裕史 演奏：ボローニャフィルハーモニーソリスト、合唱団	2,000 名前後
野外オペラ、または 熊本ガラ・コンサート	平成 29 年 9 月中旬	熊本・熊本城又は 室内ホール		2,000 名前後
東京 ガラ・コンサート	平成 29 年 9 月中旬	東京・ サントリーホール		2,000 名前後
チェンバー・ コンサート	平成 29 年 9 月中旬	未定	フルート： ジョルジョ・ザニョーニ氏 演奏：ボローニャフィルより 選抜メンバー	500 名前後
ジャパン・フェスティバル中東公演				
クラシック・ コンサート	平成 29 年 4 月中旬	中東	指揮者：吉田裕史 演奏：日本人オーケストラ	1,000 名前後

2. オーディション事業

(1) 中東公演、オーケストラ団員オーディション

目的：日本と中東との友好、また中東の文化事業推進のサポートのための公演における
オーケストラ楽団員オーディション

対象：18～35 歳までの日本国籍を有する方

人数：70～80 名程度

選考：日本、及びイタリアより招聘した審査員により厳正に審査

期日：1 月 11 日(水)、12 日(木)、14 日(土)、15 日(日)

場所：東京

公演日：4 月前半

(2) オペラ公演ソリスト候補とイタリア留学助成金オーディション

目的：①次年度の公演ソリスト候補のオーディション

②世界で活躍することを目指すソリストに、イタリア留学の助成と現地にて当財団と親交のある歌劇場への出入りを行えるよう手配

③助成希望の合格者には、最大 360 万円以内、最長 1 年以内の助成

対象：年齢制限・他の条件はなし

選考：日本、及びイタリアより招聘した審査員により厳正に審査

期日・場所：

《イタリア》

ボローニャ：2月13日(月)、14日(火)、トリエステ：19日(日)、

《日本》

京都（京都国立博物館）：2月26日(日)、

東京（イタリア文化会館）：2月28日(火)、3月1日(水)、2日(木)

備考：オーディションは一般観覧可能とし、一般の方にもオーディションの迫力を知っていただきます。

3. 体験事業－イタリアオペラツアー

オペラへの出演、オペラ舞台の制作、オペラの企画運営スタッフ、オペラに興味があり日本に広めたい方、等を対象に、イタリアの歌劇場にてオペラ体験・勉強してもらいます。

日本とイタリアのオペラの違いを感じ、実際に留学中の奨学生に現地での話を聞いて、よりオペラについて深く理解してもらいます。最終的には、当財団の目的を理解いただき、日本に戻った際に私たちの活動を支えオペラ文化を広めるよう、いろいろな分野で活躍していただく予定です。

目的：①日本のオペラ、イタリアのオペラ、劇場の違いを体験し、将来日本オペラを創出するために必要な要素を吸収してもらう。

②イタリアの当財団留学生と交流、彼らの現地での生活を共に体感し、今後に生かしてもらう。

③イタリアの関係者と懇談し、ネットワークを広げてもらう。

時期：7月予定

場所：イタリア・ボローニャ等

4. オペラ文化を広めるためにセミナー・ミニコンサート等の開催

① プレイベントの開催

平成29年度に行われるオペラの演目の知識の向上を目的とし、セミナー・ミニコンサートを開催します。日にち、場所、他詳細未定（平成28年度に準ずる）。

平成28年度実績：東京、奈良、京都にて各1回ずつ行い、計約300名集客。

オペラ初心者も気軽に参加でき、ミニ・コンサートにてソリストの声に圧倒されていた。

② ミニ・コンサートの開催

当財団オフィス、レストラン、企業等にて、機会を設け当財団オーディション合格者によるミニ・コンサートの機会を増やし、オペラファン、さわかみオペラファン、また、出演者個別のファンを作る機会を設けます。

平成28年度実績：当財団と親交のある合金会社にて『町工場コンサート』を行いました。

クラシックとは縁がないと思われる工場でも、ソリストが歌うオペラ歌曲は大好評でした。

5. 教育的プログラム

目的：若き日本人演奏者、歌手に向けて行うレッスン形式の教育的プログラム。海外の一流演奏者、から直接手ほどきを受ける機会を作り、個人の技術の向上や経験につなげます。時期、指導者等は、未定。（来年度招聘予定のボローニャフィルとの協議による）

平成 28 年度実績：当財団主催野外オペラコンサートの主役級による若手ソリストへのレッスンは、大変好評でした。レッスンを受けたソリストの中には、イタリアにて彼女にさらにレッスンを受ける約束をした方も何人かいました。